

令和7年度第1回豊川市国民健康保険運営協議会 事前質問と回答について

令和7年7月10日（木）

No.	該当箇所	事前質問	回答
1	P 1 (1)① 令和6年度豊川市国民健康保険の状況について (緒河委員)	不納欠損額の意味を教えてください。	不納欠損額とは、保険料の歳入として調定したが、最終的に徴収することができないことから納付義務を消滅させた金額をいいます。 不納欠損額の22万8,000円は、主に外国人が出国し再入国しないと判断したことによるものです。
2	P 1 (1)① 令和6年度豊川市国民健康保険の状況について (竹本委員)	令和6年度の保険料の収納率は95.0%となっていますが、将来的にどの程度回収出来るのでしょうか。ほとんどが損金（3年で回収不可）となりますか。	『収入未済額』の約1億7,400万円は令和7年度の滞納繰越となります。 令和6年度の滞納繰越全体では、収納額約1億2,000万円で、収納率は約40%です。不納欠損額は約3,100万円、全体の1割ほどで、残りの5割ほどが令和7年度に繰り越しされます。
3	P 1 (1)① 令和6年度豊川市国民健康保険の状況について (竹本委員)	外国人の国保収納率がわかれば教えてください。	外国人世帯の収納率は把握できていません。参考とはなりますが、外国人世帯の令和6年度の期別（1期～8期）を手集計した結果、収納率は約76%でした。
4	P 1 (1)① 令和6年度豊川市国民健康保険の状況について (緒河委員)	短期被保険者証・資格証明書の交付状況について ・普通保険証に変わる可能性。 ・近隣市と比較すると本市はどのような状況でしょうか。	現在は保険証の廃止に伴い、短期被保険者証も廃止となり、普通の資格確認書等を発行しています。資格証明書については、令和7年12月から特別療養費（10割負担）に移行されます。 近隣市の状況（R5）について、短期証は豊橋市2,121世帯、蒲郡市272世帯、新城市79世帯、田原市146世帯です。短期世帯の割合では、5市の中で本市は中間となります。資格証明書は4市ともに発行していません。
5	P 6 (1)④ 令和6年度特定健診実施状況について (竹本委員)	令和5年度の豊川市のメタボ、メタボ予備軍の割合が分かれば教えてください。	令和5年度のメタボリックシンドローム該当者の割合は18.7%で、男女別に見ると、男性は30.0%、女性は10.1%です。 メタボリックシンドローム予備軍者の割合は11.9%で、男性は19.3%、女性は6.5%です。
6	P 6 (1)④ 令和6年度特定健診実施状況について (小林尚美委員)	受診者数が増えた年代はハッキリ出てますか、もしくはどの年代も少し増えましたか。	全年代の平均で男性は2.8ポイント、女性は2.0ポイント上昇しました。概ねどの年代においても受診率が上がっていますが、男性の40歳～44歳及び女性の50歳～54歳では下がりました。 なお、一番上昇した年代は、女性の55歳～59歳で、4.3ポイント上昇しました。一番減少した年代は、女性の50～54歳で2.1ポイント減少しました。

意見

1	P 6 (1) ④令和6年度特定健診実施状況について (竹本委員)	特定健診受診率は前年度より2.5%増えましたが、国の受診率と比べるとまだ低いですね。
2	P 6 (1) ④令和6年度特定健診実施状況について (榑原委員)	受診率が上がっているのは良い結果だと思います。受診者増加への対策を評価して、受診勧奨に活かしてください。
3	P 6 (1) ④令和6年度特定健診実施状況について (小林尚美委員)	国保加入者、後期高齢者ともに受診率が少し上がったのは良かったです。依然、受診率が30%台なのは残念です。受診しない人の事情を調べて対策を組んでいきましょう。
4	P 6 (1) ④令和6年度特定健診実施状況について (緒河委員)	特定健康診査の実施状況、後期高齢者健康診査の実施状況、受診者数増となり、受診率が増となり保健指導を実施できたことはうれしいかぎりです。受診率増のために、担当者の様々な努力のおかげだと思います。今後も、受診率upのために、健康に関心が持てるよう周知をお願いいたします。
5	P 6 (1) ④令和6年度特定健診実施状況について (小林敬子委員)	皆様の努力がうかがえる受診率が少し上がりましたね。参考の高齢者の受診ですが、75歳以上は何かしら病院に通っている人が多いのが現状です。病院で年に何日か血液検査をし、それでOKとする人が多いと思います。それでも上昇しているのは凄いと思います。